





改訂委員会委員長  
盛岡市立米内幼稚園 園長 阿部 幸子

中高生のみなさんに、改訂版「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」(愛称「いわ100」)をお届けします。今回の改訂では、前回の平成23年版のうち47冊を入れ替えました。

改訂にあたっては、「本が好きなのにも、今まであまり本に触れる機会がなかった人にも、誰にも手に取って読んでもらえる本を選びたい」と考えました。そのためにも、より読書の楽しさが味わえる本に加えて、短編集や写真集、図鑑、絵本なども掲載しています。

さらに、「これからの岩手を支える中高生のみなさんに、東日本大震災津波に関わる本を読んで欲しい」と願って、これまでの8つのテーマに「災害を見つめ立ち上がる」のテーマを加え、東日本大震災津波で起こったこと、そこから立ち上がるうとしている人たちのことを紹介した本も掲載しています。

みなさんの中には、本を読みたいけれど「どんな本を読んだらいいかわからない」と悩んでいる人がいるかもしれません。ここに紹介している100冊は、常日頃本と深い関わりを持っている改訂委員が、様々な本の中から「いわての中高生」に是非読んで欲しいお薦めの本を選び抜いたものです。一冊一冊の本には、改訂委員の熱い思いも込められています。

改訂版「いわ100」がみなさんの本選びの参考となり、心が動かされる本にめぐり合せて読書の世界を広げてもらえたら、これほどうれしことはありません。素敵な100冊の本が、みなさんと出会うのを待っています。きっと、お気に入りの一冊が見つかるはずですよ。素敵な本との出合いは、みなさんの豊かな未来を切り拓いていく大きな力となってくれるでしょう。

## 「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」を手にしたみなさんへ

岩手県教育委員会

読書活動は、言葉の力をはぐくみ、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにする大切な営みです。本県の児童生徒の読書状況調査によれば、年々読書冊数は増加傾向にあるものの、学年が上がるにつれ、読書から遠ざかる人の割合が大きくなっています。

このような状況から、生徒のみなさんが、読書の楽しさを味わうことができるよう、平成23年に「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」(愛称「いわ100」)を作成し、配布しています。

この「いわ100」も県内の中学校、高等学校、図書館、読書ボランティアなどに広く浸透し、読書に親しむ人の割合も増えてきましたが、発行から時間が経過し、リストの中には入手不可能な図書などが見られるようになってきました。

そこで、様々な分野の方々により構成された改訂委員会で協議を重ね、「岩手の中高生に、ぜひ読んでほしい本」という願いを込め47冊分を新たに選りすぐり、改めて100冊のおすすめ図書を9つのテーマに構成して掲載しました。特に、新たに加えた9つ目のテーマには、東日本大震災津波を経験して綴られた作品などを掲載しており、教訓や記録を未来につなげていくことができると考えられています。

学校や家庭、地域など、様々な場面で「いわ100」が活用され、みなさんの読書活動が一層盛んになることを期待しています。

一冊の本との出合いが、人の生き方をより豊かなものにするきっかけとなります。この「いわ100」が、素敵な、そしてかけがえのない本との出合いを促す役割を担うことができれば幸いです。

## 改訂委員会

- 委員長：阿部 幸子 (盛岡市立米内幼稚園 園長)  
 副委員長：姉帯 裕子 (県図書館流通センター 岩手県立図書館副総括責任者)  
 委員：江刺 由紀子 (NPO 法人おはなしころりん 理事長)  
 (50音順) 菊池 桂 (花巻市立石鳥居図書館 主査)  
 菊池 千賀子 (読書ボランティア部 胆江ゆめネットワーク 事務局長)  
 澤口 祐子 (岩手県立図書館 主任行政専門員)  
 白旗 菜奈子 (岩手県立一戸高等学校 司書教諭)  
 菅原 恵 (岩手県立図書館 主任)  
 平 留美子 (洋野町立種市・大野図書館 主任司書)  
 高橋 直樹 (岩手県教育委員会事務局学校教育課 指導主事)  
 多田 美由紀 (宮古市立川井中学校 教諭)  
 中嶋 真理 (一関市立川崎中学校 校長)  
 畠山 政文 (岩手県立不來方高等学校 司書教諭)  
 日影 弘子 (岩手県立図書館 主査)  
 武藤 美由紀 (岩手県教育委員会事務局学校教育課 主任指導主事)

(役職等:平成29年度時)

## 〈作業部会〉



きょうちゃん しんちゃん

教育振興運動  
イメージキャラクター

- 統括 改訂図書  
復興教育  
改訂図書  
リスト検討  
改訂図書  
改訂図書  
リスト検討  
復興教育  
改訂図書  
復興教育  
リスト検討  
リスト検討  
統括  
復興教育

教育振興運動とは  
子ども、親、学校、地域、行政の  
5者が連携を図り、  
地域の教育課題を  
解決する岩手県独自の  
教育運動です。

## いわ100改訂に向けて

### 目的

本県独自のブックリストによる  
中高生の読書推進

- 様々な本と出会うきっかけづくり
- 災害の教訓を学ぶことのできる本のリストへの追加
- 現在の社会状況に応じた本のリストへの見直し

## いわての中高生のためのおすすめ図書100選 改訂委員会

### 改訂選書部会

入手不可能な本をテーマ  
毎のバランスを考慮して選  
書し直し、紹介文を作成

### 復興教育部会

東日本大震災等の災害か  
らの教訓と復興に向けて  
の取組などを学ぶ本を選  
書し、紹介文を作成

### リスト検討部会

入手可能な本について社  
会状況等に照らし相応し  
い本かどうか検討して選  
書し直し、紹介文を作成

### 統括部会

各部会の選書の調整と確  
認、原稿案の確認、本の準  
備等、全体に関わる作業

※掲載図書は、中高生が手にしやすい書籍のタイプ(サイズ等)を優先しています。

**New** は、新たにリストに加えたタイトルです。



# CONTENTS

<b>New</b>	おもしろくてモ理科	28
<b>New</b>	生まれた地球をめぐる	29
<b>New</b>	時間とは何か	29
<b>New</b>	科学の扉をノックする	29
<b>New</b>	鳥類学者だからって、鳥が好きたら知りな。	30
<b>New</b>	進化しすぎた脳	30
<b>New</b>	宇宙への秘密の鍵	30
<b>New</b>	<b>「選書テーマ⑩」「ニューモを味わう」</b>	
<b>New</b>	あらしのなかにシリーズ	32
<b>New</b>	フ子哲学	32
<b>New</b>	佐賀のがばいばあちゃん	33
<b>New</b>	チョコレート工場秘密	33
<b>New</b>	The MANA	33
<b>New</b>	シヨート・トリップ	34
<b>New</b>	なりたて中学生初級編	34
<b>New</b>	坊っちゃん	34
<b>New</b>	しゃばけ	35
<b>New</b>	フライ・ダディ・フニイ	35
<b>New</b>	鹿男あをによし	35
<b>New</b>	<b>「選書テーマ⑪」「語書の楽してみよう」</b>	
<b>New</b>	夏の庭	37
<b>New</b>	丘物語	37
<b>New</b>	ぼくは勉強が得意	38
<b>New</b>	レインツリーの国	38
<b>New</b>	「また、必ずさおひ」を誰もが言った。	38
<b>New</b>	Present	39
<b>New</b>	階段途中のビッグ・ノイズ	39
<b>New</b>	サクリファイイス	39
<b>New</b>	まきりぎりす	40
<b>New</b>	菊池寛	40
<b>New</b>	オー・ヘンリー傑作選	40

<b>New</b>	素敵な本との出会いを願って	2
<b>New</b>	「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」	3
<b>New</b>	手にしたみなさんへ	3
<b>New</b>	<b>「選書テーマ⑫」「人とつながり・友情・愛を考える」</b>	
<b>New</b>	1 ぼくらの七日間戦争	7
<b>New</b>	2 きみが待つる物語	7
<b>New</b>	3 きみの友だち	8
<b>New</b>	4 T E N	8
<b>New</b>	5 砂礫童子の弾丸は撃ちぬけない	8
<b>New</b>	6 退出ゲーム	9
<b>New</b>	7 砂漠	9
<b>New</b>	8 風が強く吹いている	9
<b>New</b>	9 リトル・トリイ	10
<b>New</b>	10 ワンダー	10
<b>New</b>	11 カメメに飛ぶことを教えた猫	10
<b>New</b>	<b>「選書テーマ⑬」「21のなか・社会を考える」</b>	
<b>New</b>	12 さがしています	12
<b>New</b>	13 世界から貧しさをなくす30の方法	12
<b>New</b>	14 考える練習をしよう	13
<b>New</b>	15 センス・オブ・ワンダー	13
<b>New</b>	16 席を立たなかったクロロエツ	13
<b>New</b>	17 職人を生かせる	14
<b>New</b>	18 医療のこと、もっと知ってほしい	14
<b>New</b>	19 中高生からの選挙入門	14
<b>New</b>	20 14歳からの社会学	15
<b>New</b>	21 子どものためのニッポン手仕事鑑	15
<b>New</b>	22 一生モノのキャリアを身に付けよう	15
<b>New</b>	23 伍える力	15

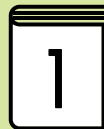
気になる本、読んだ本、友だちにすすめたい本など、チェック欄を活用してみましょう。

<b>New</b>	五十音順ざっくり	51
<b>New</b>	<b>「選書テーマ⑭」「災害を見つめ立ち上がり」</b>	
<b>New</b>	72時間生きぬくための101の方法	47
<b>New</b>	にげましよう 特別編	47
<b>New</b>	それでも、海へ 陸前高田に生きる	48
<b>New</b>	放射能との格闘	48
<b>New</b>	おもかげ復元師	48
<b>New</b>	16歳の語り部	49
<b>New</b>	津波ででんぱん	49
<b>New</b>	教育を紡ぐ	49
<b>New</b>	三陸鉄道 情熱復活物語	50
<b>New</b>	救命	50
<b>New</b>	ナイナイデイズ	51
<b>New</b>	<b>「選書テーマ⑮」「科学の魅力を知る」</b>	
<b>New</b>	虹色ほたる	42
<b>New</b>	不可能を可能にする大谷翔平120の思考	42
<b>New</b>	師のまごいカ	44
<b>New</b>	どごりも遠い場所にいる君へ	44
<b>New</b>	踊るショーカー	44
<b>New</b>	ユタと不思議な仲間たち	44
<b>New</b>	銀輪の朝香	44
<b>New</b>	村長ありき	44
<b>New</b>	宮沢賢治の鳥	45
<b>New</b>	啄木歌ごみ	45
<b>New</b>	口語訳 連野物語	45
<b>New</b>	<b>「選書テーマ⑯」「科学の魅力をj知る」</b>	
<b>New</b>	シロナガスクジラより大きいものってあるの??	27
<b>New</b>	動物のヒミツ51	27
<b>New</b>	へんないきもの	28
<b>New</b>	今森光彦ネイチャーフォト・ギャラリー	28
<b>New</b>	<b>「選書テーマ⑰」「忠誠な世界を冒険する」</b>	
<b>New</b>	くぐるの図書室	22
<b>New</b>	だれも知らない小さな国	22
<b>New</b>	獣の奏者	23
<b>New</b>	妖怪パーートの幽雅な日常	23
<b>New</b>	トムは真夜中の庭で	23
<b>New</b>	シャーロックホームズの冒険	24
<b>New</b>	モモ	24
<b>New</b>	青空のむくろ	24
<b>New</b>	アルケミスト	25
<b>New</b>	ヒバー族のしるし	25
<b>New</b>	ともしむをかかへて	25

<b>New</b>	<b>「選書テーマ⑱」「この人の生き方から学ぶ」</b>	
<b>New</b>	星野東アラスカのいのちを振り返って	17
<b>New</b>	ボクの音楽武者修行	17
<b>New</b>	世界で一番美しい大鱈と呼ばれたホセ・ムヒカ	18
<b>New</b>	武器より一冊の本をください	18
<b>New</b>	マザー・テレサ	19
<b>New</b>	杉原十次郎物語	19
<b>New</b>	いつまでもいつまでもお元気で	19
<b>New</b>	ジョン万次郎	19
<b>New</b>	龍馬がゆく	20
<b>New</b>	アンネの日記	20
<b>New</b>	現代語訳 論語	20



選書テーマ



いつだって、あなたがいて、私がいる。

だから「必修科目」となる。

# 人とのつながり。 友情・愛を考える



①  
**ぼくらの  
七日間戦争**  
宗田理 / 著

大人対子供の戦い。熱い青春  
がここにある。

大人を相手に反乱を起こした中  
学生たちの、七日間の大戦争。大人  
VS子供という対立を描いてはい  
ませんが、読後感はずわやかです。刊  
行から25年以上たっても色あせる  
ことなく、現役の中学生にも大人  
気。ぜひとも十代のうちに会って  
ほしい一冊です。



©ポプラ社

②  
**きみが  
見つける物語**  
角川文庫編集部 / 編

とびきり旬な物語。今こそ読  
みたい作家が集結。

この本には、いろいろな短編が  
入っているので読みやすく、読書  
が苦手な方でも楽に読める本に  
なっています。スクール編、放課後  
編、友情編、休日編、恋愛編、切な  
い話編、不思議な話編、オトナの話  
編などの計10種類のシリーズがあ  
ります。自分の気になる本から手  
に取って読んでみてください。



©角川書店

③  
**きみの友だち**  
重松清 / 著

八人の「きみ」が奏でる物語  
に、真の「友だち」をみる。

「友だち」とは何なのか、「みん  
な」とは誰なのか。誰でも一度は感  
じたことがあるであろう気持ちや  
葛藤を、登場人物たちが共有して  
くれる。自分の弱さを痛感させら  
れる一冊です。八人の「きみ」の中  
にあなたが居るかもしれません。



©新潮社

## 4 TEEN

石田 衣良／著

仲間とは何なのか、あなた自身の答えが見つかる一冊。

ナオト、ダイ、ジュン、テツロー。十四歳、中学二年の同級生四人は、一人では出来ないと思う事も四人の仲間と共に乗り越えて立ち向かっていきます。仲間、友情、恋とは…。あなたもこの四人と共に問題を解決しながら青春を思い切り楽しんでみませんか。



◎新潮社

## 砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない

桜庭 一樹／著

実弾がほしい。自分で生活できる力。本当の力。

生き残った子供だけが、大人になる。中学生のなきさは、自分のことを人魚だと言ふ不思議な転校生、瀧肩と出会います。大人になることを戦いに例え、痛みを抱えながら生きる二人の心の複雑さは、多くの中高生が共感できるものだと思います。



◎角川書店

## 退出ゲーム

初野晴／著

青春フルエンジン、「ハルチカ」コンビの謎とき事件簿！

弱小吹奏楽部に所属する元氣いっぱいの子力と、幼なじみの頭脳明晰だけどちょっと情けないハルタ。吹奏楽界の最高峰「普門館」をめざして奮闘する二人は、なぜ校内で起こる難事件に次々と巻きこまれるはめに。笑えてじんとする吹奏楽的青春ミステリーです。



◎角川書店

## 砂漠

伊坂 幸太郎／著

輝けるオアシスの記憶は、砂漠でもぼくらを守るだろう。

タイトルの「砂漠」はいずれみなさんが旅立つ社会のこと。これは砂漠の手前である「オアシス」、大学が舞台のお話です。一生の仲間との出会いがあり、バカみたいなことに一生懸命になって、こいつらとなら砂漠へ出てもやっていく。そんな勇気の出る物語です。



◎新潮社

## 風が強く吹いている

三浦しをん／著

「速く」よりも「強く」なりた。青春一直線の駅伝小説。

お正月の「箱根駅伝」を見たことはありますか？総距離200km余りの苛酷なレースに挑む、十人の大学生の物語です。十人のほとんどが駅伝経験なし、補欠もなしの無名チーム。それでもどこまでも一生懸命な十人がたすきをつないだ時、奇跡が起こります。



◎新潮社

## リトル・トリー

フォレストカウボーイ／著  
和田 音男／訳

本当に豊かな生き方とは？大自然の中で生きた少年の魂の成長。

両親を亡くし、チェロキーインディアンの祖父母と暮らすことになった幼いリトル・トリー。大自然の掟、その厳しさと恵み、そこで生きる術を祖父から、物語の楽しさ、人間の手が作り出す美しいもので生活を豊かにする術を祖母から学ぶ。そして生命あるものを尊び、愛する心を受け継いで少年は成長し、自立していく。



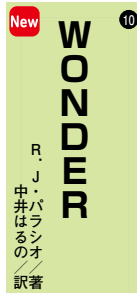
◎めるくまー

選書テーマ



へ～! そうなんだ。  
こんな仕組みがあったんだ。

## よのなか。 社会を考える

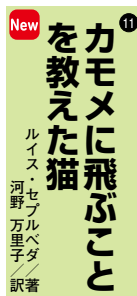


自分の中の何かが、世界が変わる、そんな力を持つ物語。

主人公オーガストは、外見以外  
は普通の男の子。ただし外見以外  
は。彼が生まれたとき、医者  
は顔を見て気絶した。五年生から  
学校に行くことを決意。毎日  
が事件の連続。オーガストや  
取り巻く家族、友人の心情が  
丁寧に描かれ、真に大切な  
ことは何かを考えさせられる。  
最後のページにつづられる  
オーガスト達の「格言」に、  
力強く背中を押されること  
でしょう。



©ほるぶ出版



さあ飛ぶんだ! この大地は  
すべて君のものだから!

北ドイツの古い港町ハンブルグ  
に住む黒猫ソルバは、一羽の  
カモメに出会う。海に流れ出た  
原油にまみれ飛べなくなった瀕  
死のカモメは、ソルバに三つの  
願いを託す。  
「異なるものたちの心の交流」  
「夢に向かって全力で挑戦す  
ることの美しさ」がユーモラス  
に、時としてスリリングに、そ  
してしつとりと展開する心温  
まる物語。



©白木社

### 「いわい」をさらに 中高生の皆さんへ 改訂委員からの メッセージ①

前回の発行から6年。本当に多  
くのことが起こりました。いわ  
100の本は皆さんがこれから将  
来に向けて生きる力になるよう  
に、と願ひ選ばれました。小学  
生が主人公の物語、科学の研  
究や職業選択に関する本もあ  
ります。本に詰まった古今東  
西の知識や作者の想いが皆  
さんに届きますように。

姉帯裕子

どの本を選べば中高生さん  
にとって友達のような存在に  
なりうるのか。贈り物と思  
えるみたいで楽しかったで  
す。皆さんをわくわくさせ  
たり、感動させたりの高  
本たち。本を窓に世界を知  
り、心をつないでいきましょう。

江刺由紀子

## 12 さがしています

アーサー・ビナード／著  
岡倉禎志／写真

「ピカドン」を体験した「ものたち」の声に今こそ耳を澄ませよう。

「ヒロシマを知っているものたちがさがしています―大切な人々を、未来に続く道を。」アメリカに生まれ、原爆投下の必要性と正当性を教えられた作者が、ヒロシマで「ピカドン」と出会う。広島街を歩き人々とお会いし語り合い、資料館の展示物の声なき「ものたち」に耳を澄ませます。「カタリハ」となって「ものたち」の声をあなたも。



©童心社

## 13 世界から貧しさをなくす30の方法

田中優、樫田秀樹、マエキタミヤコ／編

身近なものにかくれている世界の事情。

自分の暮らしと世界の人々や環境と関連付けて想像したことはありますか？食べ物や衣服が安く手に入る仕組みの中に、人身売買が介在しているかもしれない、あるいは産地の環境を悪化させているかもしれない…。執筆者の方々が目にした世界各地の現状を知ることが、世界の豊かさにつながっていくかもかもしれません。



©合同出版

## 14 考える練習をしよう

マリリン・バーバインズ／著  
左京久代／訳者

「もうダメー」よく口にする言葉。そんな時にお勧めの本！

君の頭の中には、どんな問題にだって取り組むことができる「道具」が実はもう備わっている。その道具をスムーズに使いこなすには、こわばった頭をときほぐすことが必要だ。「先入観をフチこわせ」「コツを覚えよ」「この本には、楽しみながら考える筋肉をつけていく問題がどっさり詰まっているよ。」



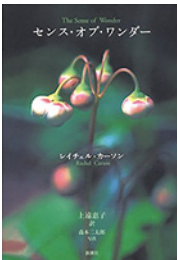
©晶文社

## 15 センス・オブ・ワンダー

レイチェル・カーソン／著  
上遠恵子／訳者

美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性！

目を新しくしてくれる一冊。たとえば、森の苔を、視線をすっと低くして見る。そのながめは、熱帯のジャングルのようにです。苔の中をはいまわる虫たちは、うっそうと茂る奇妙な形をした大木の間をうろつくトラのように見えます。」と筆者は語る。地球の美しさに感動する心があれば、生きることに絶望することはない！



©新潮社

## 16 席を立たなかったクローデット

フリッツ・ファース／著  
渋谷弘子／訳者

差別はどこにいても、いつでも起つひん。

アメリカ南部の町モントゴメリでは、一九五〇年代にも根強い人種差別が続いていました。市営バスの座席も白人と黒人に分けられ、黒人の誰もが憤りを感じていたのですが、逮捕や報復を恐れ黙って従っていました。その理不尽さに声を上げたのが、当時高校生のクローデットです。彼女の行動が、後の法改正に繋がった大きな足跡を残すのですが…。あなたの身の回りにも差別はありませんか？



©汐文社

## 17 職人を生きる

鮫島敦／著

あなたの知らない職人の世界へご招待。

就職難のため、職人に憧れる人が増加傾向にあると言われる昨今ですが、では、職人になるにはいったいどうすればよいのでしょうか。実際の仕事の様子や、職人として働く人たちの本音がリアルに語られる職人に限らず、社会人になる上で大切な教訓もしっかり伝授してくれます。



©岩波書店



18 **医療のこと、  
もっと知ってほしい**

山岡淳一郎／著

知っているようで知らなかった、医療の世界がわかります。

医師のほか、看護師や救急救命士など、医療の様々な分野で働く人を紹介しながら、現場の最前線の実態や、医師不足の要因など、医療に関することをわかりやすく教えてくれます。岩手県出身の後藤新平の偉業についても紹介されているので、ぜひ読んでおきたい一冊です。



©岩波書店

19 **中高生からの  
選挙入門**

谷隆一／著

正しく選挙を知ろう！一票に自分の未来を託すために。

選挙ってどんなもの？興味がない一面倒そう！10代の人たちにしてみれば大人のことだと思ってもいられません。でも、18歳から与えられる権利です。皆さんは、一人の有権者になるのです。この本は、選挙に関する疑問に答えられます。まず興味のあるページから！10代から20代の若い世代による本音座談会も掲載しています。



©ペリかん社

20 **14歳からの社会学**  
これからの社会を生きる君に

宮台真司 著

本当に知りたかった答えが、きっと見つかるはず。

日々変化していく世の中を、私たちはどう生きるべきか。本当の自由とは、理想と現実の違いとは何なのか。学校では教えてくれない社会学の知識が、ふんだんに盛り込まれています。先が読めない現代社会を賢く生き抜くために、この本で免疫をつけましょう。



©筑摩書房

21 **子どものための  
ニッポン手仕事図鑑**

大牧 圭吾／監修

日本人ならではの職人技。これも、もうという驚きがいっぱいです。

皆さんは、どの手仕事に興味を持ってでしょうか。ほろろ職人、輪ゴム鉄砲職人、食品サンプル職人？この本では、昔から受け継がれてきた伝統的な手仕事から、近年のニーズに合わせた手仕事まで、様々な39の手仕事が紹介されています。コツコツと長い時間を掛けて磨いた職人技。100年後の日本にも継承されてほしいです。



©オークラ出版

22 **一生モノのキャリア  
を身に付けよう**

垣畑光哉／著

自分の視点を大切に。夢に描くビジネスパーソンとなるために。

副題にあるように、10年後にはA1などが人間の仕事の半分を奪うといわれています。でも、未来の皆さんには、自分らしさを失わず「ビジネスパーソン」として活躍し続けたいと思います。この本には、成長企業26社の経営者からのメッセージが込められています。自分の将来の仕事へのヒントを見つけてください。



©ダイヤモンド社

23 **伝える力**

池上彰 著

物事の本質を理解して、わかりやすい言葉で相手に向おう。

多方面で活躍中の著者が解説し、自分の思いを他者に伝える秘訣を教えてください。池上さんが今まで実践してきたことや、芸能人のケースなどについて具体例を挙げて語ってくれます。他人に自分の考えをうまく伝えるために必要なことは？今から少しずつ実践することで、コミュニケーション力をつけてみませんか？



©PHP研究所



選書テーマ



生きるヒントがここにある。

# この人の 生き方から学ぶ



24  
New  
星野道夫  
アラスカのいのちを撮りつづけて  
国松俊英／著

生きる勇氣とエネルギーを感じる写真には、理由がある。

写真家・探検家である星野道夫氏の伝記。時にマイナス五〇度、短い夏、そんなアラスカへの憧れ。彼の写真に、生命の温度や息遣い、煌めきを感じるのにはなぜか。そして、目標を決めたら覚悟を持ってやり遂げる姿勢。星野氏の意志の強さと、人や生き物に愛される人柄が随所に感じられる一冊。



© PHP 研究所

25  
ボクの  
音楽武者修行  
小澤征爾／著

純粋な情熱と果敢な行動力が世界に通じる道を拓く。

世界的に有名な指揮者・小澤征爾さんが二十四歳の時に、自分の音楽を求めてヨーロッパ・アメリカをスクーターで旅した二年半の記録。音楽という果てしないゴールに向かって、がむしゃらに突き進む著者の鼓動が聞こえてくるような、みずみずしい青春の書です。

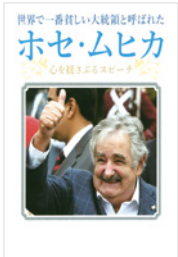


© 新潮社

26  
New  
ホセ・ムヒカ  
心を揺さぶるスピーチ  
国際情勢研究会 編

「貧しい」のではない。世界で一番「清貧」な大統領である。

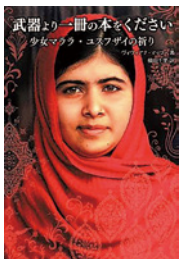
南米ウルグアイの大統領として五年間務めたホセ・ムヒカ氏。彼の、心を揺さぶるスピーチの数々が掲載されています。「豊かさとは、贅沢な暮らしのことではなく、お金をたくさん持つことでもない。幸福な時間を過ごすことが真の豊かさである。」多くのモノに溢れる現代、ムヒカ氏の生き方に考えさせられる一冊です。



© ゴマブックス

27 **武器より  
一冊の本をください**  
少女マララ・ユスフザイの祈り  
ヴァイヴァアナ・マツツァの著  
横山千里 / 訳

一人の子ども、一人の教師、一冊の本、そして一本のペン。二〇一四年に最年少でノーベル平和賞を受賞した、マララ・ユスフザイの物語です。故郷パキスタンが武装勢力タリバンにより理不尽に制圧される中、女性への教育の必要性や平和を訴える活動を続けました。通学途中に襲撃されながらも奇跡的に快復し、その後国連でのスピーチで「すべての人に平和と教育を」と訴えました。



©金の星社

28 **マザー・テレサ**  
世界のもっとも美しい人々をたずねた、神の愛の宣教師の修道女  
シャーロット・グレイ / 著  
橋高昌枝 / 訳

限りない愛の奉仕―現代のもっとも人道的な行いを伝える。貧しい人を助けたいという一念で、一人で街に出たマザー・テレサ。小さなことでも、出来ることから一つ一つ始める姿に、心を打たれます。彼女の献身に多くの人が心を動かされ、協力の輪がどんどん広がります。人間の素晴らしさを語り、希望を与えてくれる一冊。



©偕成社

29 **杉原千畝物語**  
命のビザをあげがとう  
杉原幸子、杉原弘樹 / 著

一人の外交官の信念が、六千人のユダヤ人の命を救いました。第二次世界大戦のさなか、リトアニア日本領事館の領事代理になった杉原千畝。ナチスに迫害されたユダヤ人難民を救うために、外務省の命令にそむいて自分の意思で日本通過のビザを発給しました。ドイツyson連からの圧力が強まる中、彼は信念と勇気を持って命をかけて六千枚ものビザを一人ですき続けました。



©金の星社

30 **いつまでもいつまでも元気で**  
特攻隊員たちが遺した最後の言葉  
知賀特攻平和会館 / 編

戦争に青春時代を奪われても、未来を信じる言葉が遺された。

知賀の美しい海から、再び選ばれることのない出撃を前に残された、若者たちの手紙。十八歳から二十九歳までという、青春真っ只中にはずの若者が、命を賭けて、家族を、この国の未来を守ろうとしました。個人では逆らいきれない戦争という暴力に直面し、決して諦めず、自分たちの死の先にある希望を見つめていた若者たちの言葉は、今ある命を宝物だと感じさせてくれます。



©草思社

31 **ジョン万次郎**  
海を渡ったサムライ魂  
マーギー・ブロス / 著  
金原瑞人 / 訳

ジョン万次郎はアメリカを発見した少年でした。

鎖国時代、土佐沖で遭難し、アメリカの捕鯨船に救助された万次郎は、その後アメリカ東部で青春時代を過ごしました。彼の帰国後、黒船が来航し、二百五十年におよぶ日本の鎖国政策は終わりを告げます。万次郎は、すぐれた才能と海外の広い知識を買われて武士となり、日本に海外事情を伝え、開国を勧めた人物です。



©集英社

32 **竜馬がゆく**  
司馬遼太郎 / 著

たくさんの人々との出会いが、竜馬を英雄へと押し上げた。

維新期の英雄坂本竜馬。その竜馬も、生まれつき英雄だったわけではありません。多くの人との出会いの中で、魅力を磨きあげ、英雄となっていくのです。遠い海の彼方へ思いを馳せ、希望に満ちた未来の日本の形を夢想しながらも、一人の男として恋もし、人間関係に悩みもします。司馬遼太郎が丹念にたどった竜馬の生涯。竜馬の成長と一緒に、読者も心の成長を感じられるでしょう。



©文藝春秋刊

## 33 アンネの日記

アンネ・フランク 著  
深町眞理子 / 訳

希望と祈りの言葉―隠れ家です  
記し続けた平和への思い。

十三歳の誕生日に父親から贈られた日記帳に、十五歳になった八月一日までの思いが綴られます。ユダヤ人として生まれたというだけで、ナチスに怯えながら隠れ家に暮らし続けなければならなかった少女は、いつか戦争が終わった時に公開されることを期して、日記を書き続けました。最後まで希望の言葉が記され続ける少女の日記は、平和と生の尊さを、私達に強く訴えかけてきます。



©文藝春秋刊

## 34 現代語訳論語

斎藤孝 / 著

古典中の古典が生きるヒント  
を教えてください。

教科書で学ぶ『論語』とは違った楽しみを味わうことができます。孔子の温かく、刺激的で、ときには厳しく、ときにはユーモアが漂う一言一言は、現代の私たちに、人として生きる心構えを示しています。現代語訳で分かりやすく、入門書としてお薦めの一冊です。



©筑摩書房

「いわ〇〇」を率にする

中高生の皆さんへ

## 改訂版 読者のための ミッセージ②

「いわ〇〇」をご覧いただきありがとうございます。気になる本、是非読んでみたいと思った本が見つかりましたか。これを機会に図書館巡りをしてみてほしいと胸ときめく本との出会いが待っているかもしれません。

菊池桂

中学生や高校生の頃に読んだ本はいつまでも忘れない。今でも思い出す瞬間が度々ある。世の中にはたくさんの本があふれているが、ここにある百冊はどれも誇れる一冊だ。ぜひ手に取って、心の糧にしてほしい。

菊池千夏子

読書は、自分の考えを相手にきちん  
と伝える力を育ててくれます。皆さ  
んが社会人になったとき、この力はあ  
らゆる場面で大きな強みになってく  
れるはずです。「いわ〇〇」が、その手  
助けになることを願っています。

澤口祐子

選書テーマ



わくわくドキドキ!

～空想(ゆめ)の世界で遊びたい～

# 不思議な世界を 冒険する





35  
New  
工藤 純子、廣嶋 玲子 ほか／著

## ぐるぐるの図書室

図書室から始まる不思議な物語  
五人の作家が描く5つの短編集。

「〇〇な人は放課後、図書室へ来てください」という張り紙を見たから、不思議なことが起こります。五人の主人公は自分だけに見える張り紙に誘われ図書室へ。そこで初めて見る女性から声をかけられ、「自分」のための本を手にとると、同じ一日を繰り返したり、妖怪コックがいるレストランで働かされたり、摩訶不思議な体験をします。



◎講談社

36  
New  
佐藤 さとる／著

## だれも知らない小さな国 コロボックル物語

コロボックルという小人のお話  
聞いたことはありませんか？

主人公のぼくは子ども頃、小山の中を探検し小人に出会いました。川を漂うくつの中に乗っていたのです。時が流れ、大人になったぼくは再び小人に出会い、一緒に小山を守るため協力することになったのですが…。林や小川の豊かな自然の中、成長した主人公と小人コロボックルとの交流が温かい気持ちへつながる物語。



◎講談社

37  
New  
上橋 菜穂子／著

## 獣の奏者

生き物へのまっすぐな愛、勇気と希望のわくファンタジー。

鬮蛇(くまづま)衆の子エリンが医師として成長する物語。波乱万丈の人生の中で、人として一番大事なものを求め続けていく姿に共感します。生き物の本来の生き方と本性の違いを知り、共生していくことの難しさと尊さ。現代のベットブームへの警鐘(けいしゆ)？続編も出ています。



◎講談社

38  
新月 日輪／著

## 妖怪アパートの 幽雅な日常

普通の高校生活とちよつと変わったアパートの下宿生活。

両親の死後、親戚に世話になっていたタ土君。早く自立したいと高校入学と同時に縁あつて妖怪アパートに入居しました。そこで出会つたのは人や妖怪。登場人物(たつ)は多種多様ですが、タ土君が持つ疑問は多くの中高校生のみならずと共通するのではないのでしょうか。物語の中でタ土君を支える人々や妖怪に励まされるかもしれません。



◎講談社

39  
フィリパ・ヒヤース／著  
高杉 一郎／訳

## トムは 真夜中の庭で

単調な毎日に退屈して、刺激がほしいあなたにおすすめ。

親戚のうちで休暇を過ごすトムは、真夜中に謎の時を打つ古時計に導かれ、夢と現実の間を往復する体験をします。ヴィクトリア朝時代の少女との友情や「時」を旅する好奇心と感動が生き生きと伝わってきます。イギリスの田舎の情景も鮮やかに見えてきそうです。



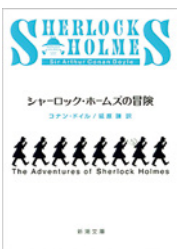
◎岩波書店

40  
New  
アーサー・コナン・ドイル 著  
石原 謙 訳

## シャーロック ホームズの冒険

世界的に有名な私立探偵の  
推理冒険物語。

私立探偵ホームズが解決した事件をワトソン医師が文章で記す、というスタイルの推理小説です。著者の医学の知識やインド赴任の体験も生かされ、当時の大英帝国の繁栄とその闇を垣間見ることが出来ます。現代でもホームズの作品から影響を受けた小説、映画、コミックがあります。まずはオリジナルを読んでみませんか？



◎新潮社

## モモ

ミヒヤエル・エンデ／著  
大島かおり／訳

「時間」の意味に、たった一人の女の子が立ち向かう。

澄んだ黒い瞳をもつ小さな女の子、モモ。彼女は「時間の花」をめぐる物語に巻き込まれてしまっています。果たして、モモは時間どろぼうから人々の時間を取り戻すことができるのでしょうか。本当の「時間」の意味と「幸せ」を学ぶことができる一冊です。



©岩波書店

## 靑空のむこう

アレックス・シラー／著  
金鹿瑞人／訳

最期に伝えたかった想いと、遺したかった言葉とは…。

主人公ハリーは姉とケンカしたまま自転車道に飛び出し事故に遭います。気が付くとハリーは事故で亡くなり、時間の経過とともに家族や友人がいるところを少しずつ受け入れていくところで死を受け入れられませんが、誰かに気づいてもらうため、いろいろ試してみるのですが…。



©求龍堂

## アルケミスト

夢を旅した少年  
パウロ・コエリョ／著  
山川絳矢、山川亜希子／訳

夢にむかってあるきはじめ、ための大きな勇気をくれる一冊。

夢をきっかけに旅に出た羊飼いの少年。旅を通してさまざまな出会いをし、そこからさらに自分の内面へと旅をする。魂が宇宙のエネルギーと結びついていく。自分をしはっていきるのは自分だけだったという気づき。傷つくとを恐れることは、実際に傷つくよりもつらいものだ……。きつとあなたにとっても一生の宝物となる一冊。



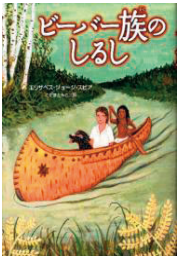
©角川書店

## ビーバー族のしるし

エリザベス・ジョーン・スピア  
こたまとこ／著

家族との平穏な生活に改めて気づき、愛と勇気をもたらす。

大自然の中に一人残されたマトが恐怖と孤独の中で生きていく物語。命を救ってくれたインディアンから自然と共に生きる知恵を教えられ、インディアン少年との心の交流と別れを経てたくましく成長していきます。最後のシーンは胸がきつと熱くなると思います。



©あすなろ書房

※「インディアン」の呼称は学術的観点から厳密に正確な呼称ではないとされています。

## ともしびをかかべて

ローズマリ・サトクリフ／著  
猪熊孝子／訳

戦いと苦悩の末に歴史が作られ、人生もつむがれていく。

サクソン軍の襲撃で家族を失い、絶望の中で勇氣と誇りを失わず生きぬいていく兵士アクイラの正義感と強い心に打たれます。ローマ帝国時代に、意志を貫き生きる厳しさや人間愛の美しさ、特にアクイラの家族に対する思いの強さに、胸が熱くなります。



©岩波書店

「いわい」(1)をまとめる  
中高生の皆さんへ

## 読書委員からのメッセージ③

一冊の本との出会いが、その後の、その人の人生を大きく変えてしまうことがあると思います。この「いわい」が、人生の糧となる本と出会えるきっかけとなってくれたら嬉しいですね。

白旗 菜菜子

純粋に感動したり、世界のどこかで起きていての何かを知ったり、面白かったと感じる充実感であったり、いわい」で巡り合った本から、そんな自分だけの読書の楽しみに浸ってほしいと思います。

菅原 恵

人生は誰と出会うって、何を感じて、どう行動するかで変わってきます。また、心が動く時、あなたの持つていける運も動きだします。良い運を持つことは、幸せな人生を手に入れる鍵なのです。どうぞこのリストの中の本と出会って、たくさん心を動かす訓練をしてください。きつとあなたの未来が今よりも面白いものになることでしょう。

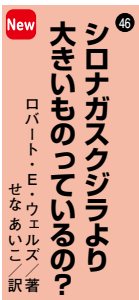
平留 美子



©評論社

地球上の全ての生き物の中で一番大きいシロナガスクジラ。それよりも大きいエベレスト山、それよりも大きい地球、それよりも大きい太陽……。どんどん探していくと宇宙の銀河までたどり着く。地球を100個網袋に詰めたり、太陽をオレソジに見立てて100個箱詰めしたりと、その比較方法がとてつとユニーク。

大きいってどんなこと？ やさしくてユーモラスな科学絵本！



Robert E. Wilson / 著  
Sena Aiko / 訳



©築地書館

動物たちの意外な生態や、背景を知ることができるとともに、飼育員の情熱と、動物への愛情が伝わってきます。動物園に行ったら、ただ、動物をながめて楽しむだけでなく、生態系のバランスや、環境問題についても、思いをめぐらせてみませんか。

動物園の楽しみ方が変わります。



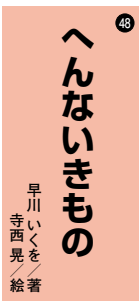
多摩動物公園 / 著



©新潮社

生物の図鑑です。一見写真のようにリアルな絵が添えられており、口しかなない生物や滑稽な姿の生物にまず驚嘆します。見開きには生息環境や生態など詳しい解説がついています。続刊もあり、地球上にこんな未知の生物が存在しているのかと思わずされます。

ホントにいるのか？こんなへんなの。目を見張る姿の生物ばかり。



早川いくを / 著  
寺西晃 / 絵

選書テーマ



ようこそ！

サイエンス・ワールドへ。

# 科学の魅力を 知る





49  
今森光彦  
「世界の昆虫」  
ネイチャーフォト・ギャラリー  
今森光彦／著

ページをめくるたびに、幻想的な昆虫の世界が広がります。

世界各国で撮影された選りすぐりの昆虫写真とともに、撮影時のエピソードや、昆虫にまつわる伝説など、丁寧な解説がその魅力を伝えます。図鑑の域を超えた芸術作品として、昆虫の美しく不思議な世界を、じっくり堪能してみませんか。



©偕成社

50  
時間とは何か

池内了／著  
シタケ シンスケ／絵

「時間がない」と言っているあなたこそ読んでほしい。

私たちは、日々、時間を意識しながら生活しているはずなのに、改めて時間とは何かと言われると、答えられるでしょうか。そのなぜや歴史が楽しく解き明かされて、時間の大切さを感じることができ一冊です。この本をきっかけに、自分らしい時間の過ごし方を考えてみませんか。



©講談社

50  
おもしろくても理科

清水義範  
西原理恵子／著  
絵

走行中の電車内で跳んでも、もとの床に着地できちやうのはなぜ？

理科に疎い人を対象に想定し、軽妙な書きぶりで慣性の法則、時間、食中毒、海辺の生き物などを説明してくれます。漫画家の西原理恵子さんによる毒舌な挿絵がとにかく笑えます。光村図書の中学校国語教科書の「中学生にすめたい百冊」にも含まれている本です。



©講談社

50  
科学の扉をノックする

小川 洋子／著

科学の扉を叩いて開けたその中にこんな人達が待っていた。

タイトル通り、作家の小川洋子さんが様々な分野の科学者を訪ね、対話した内容のリポートです。好奇心の向くまま素人の目線で質問をしていますが、その内容や科学者の答えを聞いて考えることがこの作家らしいと思います。科学の世界への入口としておすすめします。



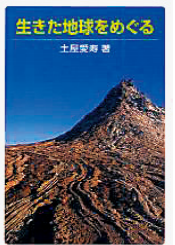
©集英社

51  
生きた地球をめぐる

土屋愛寿／著

いつの日か、自分の目で見て感じてほしい。

地震が起きるのも、温泉が熱いのも、全て地球が生きている証拠。時に、人類にとって脅威となる地球の営みは、生きた証として、世界各地に多様な地形を残しています。太古から連続と続く、ダイナミックな地球の歴史に、思いを馳せてみませんか。



©岩波書店

54  
鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。

川上和人 著

筆者はどんな風に研究しているのか興味のあるあなたへ。

筆者は鳥を研究する鳥類学者です。鳥類学者だから鳥だけを見ていると思いきや、絶海の孤島へ泳いで上陸したり、蚊などの小さな生き物相手に格闘したり。そんな研究者の日常がユーモアあふれる語りで紹介されています。その語りの中にも、時には環境の問題や生態系についても考えさせられる一冊です。



©新潮社

選書テーマ



ツボにはまって、  
読書にはまる。

# ユーモアを 味わう



## 進化しすぎた脳

New

池谷裕二／著

世界はすでにあるのではない。  
世界は脳の中で作られるのだ。

人工知能（AI）と、脳が生み出す生身の知能との違いはなんだろう。「心」と脳の関係はどのようになっているのだろう。本当に脳が体をコントロールしているのだろうか。脳に関する話題は難しそうに感じますが、この本では高校生との対話の形式で分かりやすく、おもしろく説明してくれます。身構えずに読める一冊です。



©講談社

## 宇宙への秘密の鍵

New

ルシー・ホーキング、スティーヴン・ホーキング著  
さくまあみこ訳

僕のペット、豚のフレディが消えた！ジョージの冒険がはじまる。

アインシュタインに次ぐ優れた宇宙物理学者として高名なホーキング博士。この本は娘さんとの共著によるスペースアドベンチャー三部作の第一作目です。物語になっており、主人公ジョージの冒険を楽しみながら宇宙についての知識を深めることができます。



©岩崎書店

「いわい」を主とする  
中高生の皆さんへ

### 読書委員からの メッセージ④

夢中になって本を読んでいるみんなの顔を想像しながら本を選びました。この「いわい」がきっかけとなり、読書がおもしろいと感じて、一冊でも多くの本を手にとってくれることを願っています。

高橋直樹

ページをめくればすぐに本の世界に入っていきます。復興教育部会で紹介した本には、あの日のことを忘れてはいけないうかを教えてください。若手の中高生の皆さんと読書の素晴らしさを感じて読んでいきたいです。

多田美田紀

本の世界へ旅をしよう。時代や年齢も国も越える旅の中で、きつと出会える、友人や道しるべとなる人々に。心の中に彼らを生きし一緒に生きる。幸せを具いたし、希望をつくりだして「自分」を生きていくために。

中嶋真理



木村裕一／著  
あべ弘士／絵

普通、出会いはすのびないヤギとオオカミの奇跡の友情物語。

嵐の夜に出会はずのすのびない二匹が小屋に泊まり合わせ、その後二匹は一緒に旅に行くという話です。とても話の展開がおもしろく、次から次へと読みたくなると思います。また、この二匹の友情の素晴らしさに感動すると思います。あなたも読んでみませんか。



講談社



ロアルド・ダール／著  
柳瀬 尚紀／訳

甘いチョコレート工場の風刺の効いたヒターな物語。

謎に包まれた巨大チョコレート工場見学の切符を引き当てた五人の子供たち。発明品のような菓子女子や工場で出会ったユニークな人たちに、笑ってしまいます。奇想天外な出来事に次々と遭遇する子供たちは、次第に、人として大切なことは何かに気づかされていきます。



評論社



佐藤雅彦／著・絵

「哲学」って聞くと難しく、でも本当に難しいのかな？」

日常の中で「あれっ？」と疑問に思う瞬間はありませんか？考え込みたけれど、時間に追われ、深く考えられずに終わってしまう経験ありませんか？この本では「不変」「想像力」等のテーマについて、イラストと解説で表現しています。擬人化したモノも出てきて「考えること」がより身近に楽しく感じられる一冊です。



中央公論新社



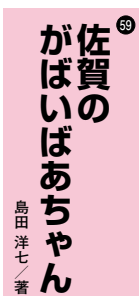
あさのあつこ／著

人生には笑いがあった方がいい。一緒に過ごしてたくさん笑おう。

転校先の中学校で瀬田歩(男子)と同じクラスの秋本貴史から漫才の相方に誘われます。歩は文化祭で披露する漫才版「ロミオとジュリエット」のジュリエット役に抜擢。文化祭準備を進めながらクラスメイトとなじんでいく歩。「フツ」でなければならぬと思う歩に秋本は問い質します。「なんでぶつうじゃないとあかんのや」



ポプラ社



島田洋七 著

人生は総合力。心の持ちようであしく生きられる。

がばいばあちゃんの頃知のきいた一言一言に、最初から最後まで笑いつばなして読んでしまいます。ばあちゃん語録から、発想の転換で人生は楽しめるというところが伝わってきます。どんな困難にもどんと構えて、笑いとばしていけるような元気がもらえる一冊です。



徳間書店



森絵都 著

癒しや潤いを味わえる48の旅にまつわる物語。

中学生新聞に連載された、どこにもありそうで、とつても不思議な世界を味わえる一冊です。一つの物語がわすか数ページに分かりやすい文体でまとめられているので、とても読みやすく、どんな読みたい気持ちかわいてきます。みなさんも、不思議な世界にトリップしてみませんか。



集英社文庫



63  
New  
なりたて中学生  
初級編  
ひこ・田中／著

詰め襟に学級章と校章。オしは瀬谷中学校の生徒になる。

オし成田鉄男は、引越してよってライバル小学校からの生徒が入学する瀬谷中学校にただ一人入学することになってしまった！オしが知っているのは制服の採寸と一緒に買った「シロタアンリ」という女子だけ。どんな中学校生活が待っているんだろう。中学校に入学した主人公が成長する日々を関西弁でユーモラスに語ります。



©講談社

66  
フライ、フライ  
金城一紀／著

強い気持ちがあれば、人はひと夏で変わることができる。

傷つけられた娘の復讐に燃え、強い父親になるために、高校生に弟子入りしたひと夏の物語。思わず笑ってしまう心憎いセリフとぐいぐい引き込まれるストーリー展開で、一気に読み進めてしまえます。ひた向きに頑張れば自分を超えられる、そんな気分になる一冊です。

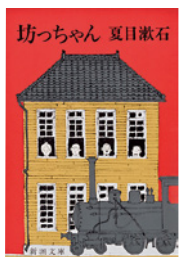


©角川書店

64  
坊っちゃん  
夏目漱石／著

無鉄砲で一本気。中学教師・坊っちゃんの痛快ストーリー。

四国の中学に赴任した坊っちゃんは口が悪く怒ってばかり。しかし軽快な文体と共に、無鉄砲で真正直な坊っちゃんに惹かれ、赤シャツへの「憤り」も共感できます。この小説をモチーフにした、万城目学著『鹿男あをによし』(P35)に紹介と登場人物を読み比べるのも楽しいです。



©新潮社  
／岩波書店、集英社、角川書店

67  
鹿男あをによし  
万城目学／著

突然鹿に話しかけられた「おれ」運び番って、目ってなんなんだ。

奈良の女子高の教師になった「おれ」はある日突然、奈良公園の鹿に「巨」の「運び番」を命じられます。鹿は鎮めの儀式を行わないと日本は滅亡するというのです。よくわからないまま巻き込まれていく主人公の「おれ」と生徒そして鹿との会話が笑えます。

(P34「坊っちゃん」でも紹介)

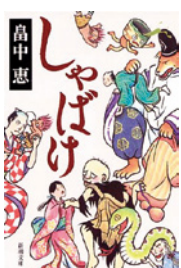


©幻冬舎

65  
しゃばけ  
島中恵／著

病弱な若旦那がどきどきおどけた妖たち、江言を駆け回る。

江戸の廻船問屋の一人息子、一太郎は、外出もままならないほどの病弱な体。一太郎を守るのは、犬神・白沢・鳴茶・屏風のぞきたち妖怪。彼らが力を尽くして一太郎を守っているのに、なぜか殺人事件に巻き込まれてしまいました。守られてばかりの自分に嫌気が差し、ふりかかると困難を払いのける力を身につけようとする一太郎と共に、読者も江戸の町を駆け回ることでできる幻想捕物帖。



©新潮社

「いわい」を「なす」  
中高生の管さんへ  
ミッセージ⑤

臆病な者には勇気を、向こう見ずな人には考えることを、伝えることの苦手な人には表現の仕方を、迷っている人には「このヒントと人生には愛があるから」のことを教えてくれる本たちです。人生を動かすのは出会いです。  
島山政文

本を読むことで、自分の世界が広がります。そのことは、これからの人生のなかで、とても大事なことです。「いわい」をきっかけにたくさんの本と出会い、世界を広げていってほしいです。  
日影弘子

知らない世界に触れる喜び。その世界に読み流り、思いを巡らす面白さ。そんなふうに心が揺さぶられ、豊かになる本の出会いは、世界に一つだけのかけがえのない自分の人生に大きな力をもたらしてくれるでしょう。  
武藤美田紀

選書テーマ



活字アレルギーの特効薬  
～この一冊から踏み出そう～

# 読書の楽しみに 目覚める



69

## 夏の庭 — The Friends —

湯本香樹実 / 著

読み終えて、あたたかさに包まれる…。

ひとは死んだらどうなるのだろう。素朴な疑問から、おじいさんを観察し始めた少年たち。やがて芽生えた奇妙な「友情」と、夏の思い出。喪われ逝くものと、永遠に失われないもの。「生」と「死」をみつめ、力強く成長していく少年たちを描いた物語です。



新潮社

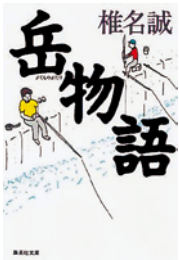
69

## 岳物語

椎名誠 / 著

「おとう」の目を通し、息子の少年時代を温かく見守ります。

息子の名前は岳。丸坊主でケンカが強く、釣りが大好きな少年。「おとう」は息子の成長を見守りつつ、一緒に釣りにも出かけます。自分が好きなことをすべてに優先する親子。物語には幸せな時間、ほのぼのとした温かい思いがあふれています。



集英社文庫

70

## ぼくは 勉強ができない

山田詠美 / 著

勉強よりも大切なことに気づいたんだ。それは…。

主人公の時田秀美は、サッカーが大好きな十七歳の高校生です。どこかみんなと違う価値観を持っていることで、クラスメートには人気ですが、一部先生には受け入れられない存在で…。友情・恋・家族・将来・秀美の目で見る高校生とはどんな姿なのでしょう。タイトルの本当の意味とは何でしょうか。



新潮社

## 74 レインツリーの国

有川浩／著

顔を合わせていない時には、おしゃべりも弾むの……。

十年も前に読んだ本をきっかりにして、インターネット上で知り合った伸とひとみ。メールのやり取りの中で少しずつ近づいていた二人の心中は、現実の世界で顔を合わせた時、すれ違いを生んでしまいます。人と人が理解し合うことの難しさ、一筋縄ではいかない恋。けれど、理解したいと思う相手がいることはとても幸せなこと。そう思わせてくれる一冊です。



©新潮社

## 74 階段途中のビッグ・ノイズ

越谷オサム／著

屋上への階段が活動場所。猛暑にも理不尽にも、絶対負けたくない。

先輩たちの不祥事のために廃部を決められた軽音部。たった一人で後始末をすることになった啓人ですが、一度は部を去った伸太郎に引つ張られて、廃部回避のために奔走します。文化祭「田高マニア」のステージで演奏したい！その思いで、立ちほだかる困難に力強く立ち向かう啓人たち。青春とはこういうこと。読み終わったとき、せつせつと思える一冊です。



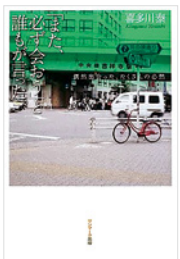
©幻冬舎

## 72 「また、必ず会おう」と誰もが言った。

喜多川 泰／著

偶然出会った大人たちの温かさ。彼が得たものは？

ひよんなことからついてしまった嘘が原因で、一人、デイズニールンドに行く羽目になった主人公は熊本の高校二年生。だが不運が重なり帰りの飛行機に乗り遅れる。所持金はわずか三千四百円だけ。所方に喜れる彼に「おい、若者」と土産物売りの場のおばさんが声をかけた。これから先の数々の出会いが彼を変えていく。



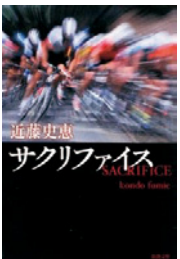
©サンマーク出版

## 75 サクリファイス

近藤史恵／著

エースとアシストとの葛藤。予想外の結末が待っています。

自転車ロードレースの出場チームは、一人のエースを勝たせるため他の選手はアシストとしてサポート役に回ります。アシストはひたすら自分を犠牲にし、チームの優勝のため貢献します。物語は臨場感、疾走感にあふれ、最後にドラマチックな展開を迎えます。



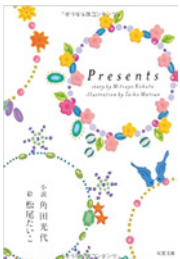
©新潮社

## 73 Presents

角田光代 著  
松尾たいこ 絵

あらゆる場面の女心にすっと納得感を感じられる角田ワールド全開。

「春に生まれたから春子」。母のそっけない答えが退屈に思えた春子。平凡で退屈な結婚生活の中で春子は新しい命を授かる。陣痛をかかえ出産に向かうタクシーの外は折しも桜が満開だった——名前ほか高校教科書掲載の「ランドセル」など、人生がぐくられる贈り物を受け取れるかどうかは生きていく主人公次第と教えてくれる。



©双葉社

## 76 きりぎりす

大宰治／著

大宰治の中期秀作十四編。小説を読む醍醐味が味わえる。

金と名声を手に入れ、しだいに俗物に墮ちてゆく画家を、妻の視点で描く表題作。惚れた男のために盗みを働いた若い女の胸中に去来する思いとは？ 巻頭を飾る『燈籠』。犬を恐れ忌み嫌っていた作家は、ひよんなことから住み着いた犬を殺そうと決意するに至るが……。主人公の心境の変化を追う『雷大説』。読み始めたらもう中断不能。



©新潮社



選書テーマ



イーハトーヴ再発見

～知ってる?この人、この作品～

# 岩手県の 作家・舞台を読む



百年経っても色あせず、読者の心をわしづかみにする短編集。

すべての作品が、その場に立ち合っているかのような臨場感で迫ってくる。ギャングラーの性を描く『勝負事』。命乞いを重ねる武士ははたして臆病者なのか——『三浦右衛門の最期』。ほか小説十三編、戯曲『屋上の狂人』『父帰る』。さらに随筆一編を含む菊池寛アラカルト。どの作品をとっても名作ぞろいの贅沢本。好みのものから。



©筑摩書房



予想は裏切るが期待は裏切らない。そんな珠玉の二十編。

かつて金庫破りだった主人公は、愛する女性のために二度と悪事はないと心に誓う。だが明るい未来への入り口で運命の事態が！恋人の姪が最新式の金庫室に閉じ込められてしまったのだ。手元には今まさに処分しようとしていた道具一式がある——名作『改心』。他、おしゃやかな語り口、絶妙なプロットによる味わい深い一冊。



©岩波文庫

## 岩手が育んだ文学①

2017年上半期の第157回芥川賞受賞作品『影裏』。盛岡市在住の著者、沼田真佑さんのデビュー作。

岩手に住む会社員である主人公を取り巻く人間関係について、岩手の野山や川などの美しい自然を背景に描かれ、聞き覚えのある県内の地名やお店や特産品も随所に出てきます。

読むたびに印象が変化する全94ページほどの作品です。文学賞受賞作をぜひ読んでみませんか。



©文藝春秋

79 **不可能を可能にする**  
大谷翔平120の思考  
大谷翔平／著

岩手が生んだスーパースター「大谷翔平」の言葉。

著者は奥州市出身。花巻東高等学校からドラフト一位で北海道日本ハムファイターズに入団。その後、メジャーリーグのエンジェルスに移籍しました。不可能を可能にするには、「先を見通して着実に前に進む努力をすること。」がわかる語録です。野球以外の生活においても、「なるほど」と思える言葉が散りばめられています。



©びあ

80 **虹色ほたる**  
— 永遠の夏休み —  
川口雅幸／著

あなたにとってかけがえのないものは何ですか。

今は亡き父との思い出の山奥のダム。訪れていた小六のユウタが、タイムスリップした一九七〇年代の村で見たもの…それは、泣きたくなるほど懐かしく美しい景色や世界でした。信じられない事が続いていくけれどグイグイと引き込まれていく感動の物語です。



©アルファポリス

81 **岬のマヨイガ**  
さいとうゆきこ／絵  
柏葉幸子／著

苦しみの中でも顔をあげて。未来はハッピーエンドだから。

マヨイガとは言葉の中で「会う」ということがあると言われてる住所不定の不思議な家。暴力や喪失、そして自然災害といったつらい現実を抱えた登場人物たち。お互いを思いやる気持ちでたくさんの人やカッパ、お地蔵様の助けを支えにそれぞれが試練に立ち向かい克服していくお話です。恐怖と苦難の化身「アガメ」にいざ挑め。



©講談社

82 **どこよりも遠い場所にいる君へ**  
阿部 曉子／著

みんな「何か」を抱えて懸命に生きています。

痛みのない人間なんかいない。周りにいるみんなだって「何か」を抱えながら生きています。お互いの気持ちをわかりあえたら、その「何か」が溶けだすかもしれない。読み終えた後に爽やかな気持ちになる一冊。著者は花巻市在住。デビュー作の「屋上ポロイス」でコバルト「ロマン大賞」を受賞しています。



©集英社オレンジ文庫

83 **踊るジョーカー**  
北山 猛邦／著

頼りない探偵が最後には事件の謎をすっきり解き明かします。

五つの事件に五つのキーワード。トランプ、時計、カメラ、チョコ、雪だるま…。事件現場に残された証拠をもとに、気が弱く引きこもりがちな名探偵・音野順が事件のからくりを明快に解き明かします。あなたも名探偵と一緒に謎を解いてみませんか。



©東京創元社

84 **ユタと不思議な仲間たち**  
三浦 哲郎 著

ユタが出会ったのは座敷わらし。ひと夏の体験が大きく成長します。

ユタは東京生まれのやせっぽちな小学六年生。お母さんのふるさとで九人の座敷わらしと出会い、仲良くなります。不思議な呪文「ワタワタ、アゲロジャ、ガガイー。」辛い生い立ちの仲間とさまざまな体験を経て、ユタは強くたくましく成長していきます。



©新潮社

## 銀輪の覇者

斎藤純／著

自転車賞金レース。参加者の  
思惑をばらみ物語は加速する。

昭和九年、下関から津軽半島までの本州縦断自転車レースが、物語の舞台です。多彩な参加者同様に、背景や思惑も様々です。レースシーンを縦糸に横糸や斜め糸、物語の糸は複雑に絡みます。友情に胸が熱くなり、登場人物の息遣いや、ペダルを踏む感触が伝わります。



©早川書房

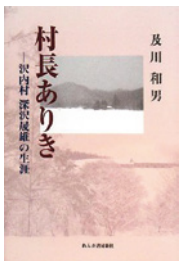
## 村長ありき

沢内村 深沢巖雄の生涯

及川和男／著

道のないところに道を作った人。  
信念の強さ、ゆるぎない姿に感動。

長い間、豪雪、貧困、無医療に打ちひしがれてきた旧沢内村（現・西和賀町）。「村びとの生命を守るため私は命をかける。」深沢村長は幾多の苦難を乗り越え多くの村民の命を救います。強い信念とゆるぎない姿勢は、村に希望の灯をともしました。



©れんが書房新社

## 宮沢賢治の鳥

国松俊英 著  
鏡野鴻 絵

眼の前に、色鮮やかに現れる賢治の鳥たち。

宮沢賢治の作品には、「ヨタカ」「フクロウ」「ハチドリ」など、七十種以上の鳥が登場します。ページをめくるたびに、色鮮やかな鳥たちが、賢治の世界に次々と飛び立っていきます。著者は、宮沢賢治学会や日本野鳥の会の会員。鳥の姿の美しさや生命力をとおして、賢治作品の魅力を紹介してくれる一冊です。



©岩崎書店

## 啄木歌ごよみ

New

財団法人石川啄木記念館 企画・編集  
山本 玲子／著

「若手山」「北上川」  
郷里を詠む歌人 石川啄木。

石川啄木の短歌が、季節に合わせて収録され、その背景や解説が付されています。それぞれの短歌や四季折々の写真から、当時の啄木の暮らしがびりや心持が伝わってきます。「ふるさと」の寺の畔のひばの木のこと、たださに来て啼きし閑古鳥「など、その根底には、郷里の若手が原風景としてあるまじくはない。



©石川啄木記念館

## 口語訳 遠野物語

New

柳田 泉男／著  
佐藤 誠輔／訳  
小田 富英／注

ふるさと若手は、民話の宝庫です。

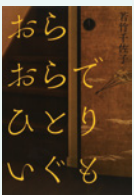
民俗学者の柳田泉男が、遠野の民話収集家佐々木喜善から採話した民話集です。原文の「遠野物語」は難解かもしれませんが、本書は口語訳でわかりやすい文章になっています。「オシラサマ」「マヨイガ」など、全国的にもよく知られている若手の民話を読んで、郷土の歴史や文化に触れてみませんか。



©河出書房新社

## 若手が育んだ文学②

2017年下半年の第150回芥川賞受賞作は、若手出身の作家若手千佳さんの「おらおらでひとりぐも」。そして第158回直木賞は、宮沢賢治を父の視点から描いた門井慶喜さんの「銀河鉄道の父」。2期連続の文学賞受賞作を生んだ若手の風土、「文学の国、いわて」と呼んでも過言ではないでしょう。



©河出書房新社



©講談社

選書テーマ



人と人とのつながりが  
生きる力になる

# 災害を見つめ 立ち上がる

このテーマは、改訂版で新設されたものです。  
沿岸地域の  
中学校・義務教育学校51校、高等学校16校、  
合計67校に御協力いただき、  
「おすすめの本アンケート」を行いました。  
各校から推薦いただいた47冊をもとに、  
選書した本を掲載しています。

## 選書テーマ9の 本を読む前に

このテーマでは、2011年3月11日に発生した東日本大震災津波などに関係する本を紹介していきます。災害などの出来事を取り巻く人と人とのふれあいや教訓を風化させずに後世に伝え、明るい未来を創るための道しるべとなるように願った選書したものです。

しかし、震災の記憶や体験は人それぞれであり、つらい気持ちを中心に重く残っている人がいるのも事実です。このテーマの本を読む時には自分の心の状況を見つめ、また、他の人に紹介するときには、相手の気持ちや状況を思いやりながら活用していただければと願っています。

### New 90 72時間生きぬく ための101の方法

夏緑／著

何をすればいい？災害に生きぬくためにきまぬふり。

災害がおこって助けが来るまで長くても三日間。72時間生きのびれば助かる。この本を読めば、たとえどんな状況に置かれてもその時間を生きぬくための知識と知恵が分かります。地震・雷・火事・交通事故・水難事故等、それぞれの事例に沿った納得の知識を得ることができます。いざという時に行動する力と勇気がわくこの間違いなし。



©童心社

### New 91 「にげましよう」特別版 災害でいのちをなくさないために

河田恵昭／著

逃げることは安全な場所へ。生きるために、必ず安全な場所へ。

「一番大切な「命」を守るには、感うことなく逃げるのが肝心です。本書では、さまざまな自然災害から逃げるタイミングを学ぶことができます。立場やしがらみによって、逃げることを卑怯だと思っでは、尊い命は守れません。1分1秒でも早く、そう、逃げましよう。生き延びさえすれば、未来はありますから。」



©共同通信社



92 **それでも、海へ**  
陸前高田に生きる  
安田 菜津紀 / 著

写真でつづる漁師と孫と海の物語。震災後の港に活気が蘇る。

陸前高田市の漁師菅野修一さんは、実直で人望も厚く、梯子虎舞のまとめ役です。しかし、津波被害を目の当たりにし、一度は海に出ることを断念。「じいちゃんかっさきた白いお魚がもう一回食べたい。」孫の言葉が菅野さんの胸に響き、再び船を繰り出します。海の恵み、家族の支え、地域のつながりが笑顔を広げていきます。



©ポプラ社

93 **16歳の語り部**  
雁部 那由多、津田 穂乃果、相澤 朱音、語り部  
佐藤 智郎、案内役

同世代の君たちに伝えたい。  
あの日の「ハイ、あれからのハイ。」

東日本大震災当時、小学校五年生だった三人。目の前で起こった出来事をどのように受け止め、どのような思いで震災と向き合ってきたのかを、自分の言葉で率直に語っています。これからの自分の生き方を見つめながら、過去と未来をつなぐ役割を果たそうとする姿勢は、同世代の皆さんの心にもきっと響いていくでしょう。

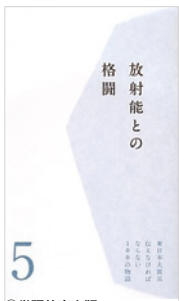


©ポプラ社

93 **放射能との格闘**  
福島を大突破  
田代はなはな / 著  
田代はなはな / 著

厳しい原発問題に直面している福島の人々の生きる姿。

負の遺産とも言うべき原発の問題を突き付けられた福島の人々を抜きにして、東日本大震災を語ることはできません。ふるさとを追われた多くの人々。この本には、自分のふるさとで生活を再建できないつらさや悲しみ、苦しさの中にあっても、前向きに自分の人生を生きていこうとする福島の人々の姿が詰まっています。



©学研教育出版

93 **津波でんでん**  
近代日本の津波史  
山下 文男 / 著

おちこち場所へ全力疾走。  
合言葉は「津波でんでん」。

歴史から未来を学ぼう。日本は島国なので津波はまたいつかやって来ます。この本には近代日本史における大津波の被害状況が克明に記録されています。そして、命が一番大事だということ、日頃から様々な状況を考えて対処の仕方を勉強しておくこと、避難訓練の実施等、自然と共に生きるための先人の教えがここに描かれています。



©新日本出版社

94 **おもかげ復元師**  
笹原留似子 / 著

震災後二〇人以上を復元した納棺師が綴る感動の実話。

「こんなお父さんじゃない」津波で死後十日の亡骸を前に男の子が叫びました。納棺師の笹原さんは、この子のヒーローだった父親の顔を微笑んだ顔に復元します。「お父さんが戻ってきたね」。家族は最後のお別れをすることができたのです。残された人々が死を受け入れ、生きていけるように、笹原さんは死と向き合います。



©ポプラ社

97 **教育を紡ぐ**  
大槌町 震災から  
新たな学校創造への歩み  
山下 英三郎、大槌町教育委員会 / 編者

子供たちを守り抜き、その未来をつないだ教師の想いは…。

東日本大震災で甚大な被害を受けた大槌町。町内七つの小・中学校の教職員が、必死に子供たちを守り抜き、五校が使用不能の子供たちのための教育を取り戻すために奮闘した記録です。子供への深い愛情と熱意、そして教師としての使命感が伝わってきます。教育が未来をつなぐ復興への原動力であったことを感じる一冊です。



©明石書店

# 五十音順 さくいん

<b>あ</b>	青空のもこう 24 あらひのよるにシリーズ 32 アルゲミスト 24 アンネの日記 20	<b>こ</b>	口語訳 遠野物語 45 子どものための二ツッ手仕事四巻 15	<b>ち</b>	中学生からの選挙入門 14 鳥類学者だからって、 鳥が好きだと思ふなよ。 29 チョコレート工場の秘密 33	<b>ほ</b>	放射能との格闘 48 ボクの音楽強者修行 ぼくは勉強ができない 17 ぼくらの七日間戦争 7 星野道夫 アラスカのカイのちを振りつづけて 17 坊っちゃん 34		
<b>い</b>	さがしています 12 佐賀のがばいばあちゃん 32 サブリアアイス 39 砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない 8 砂漠 9 The MANZA I 33 三陸鉄道情熱復活物語 50	<b>さ</b>		<b>つ</b>	伝え力 15 津波でんでんこ 49	<b>ま</b>	マザー・テレサ 18 「また、必ず会おう」と誰が言った。 38		
<b>う</b>	生きた地球をめぐる 28 一生モノのキャリアを身に付けよう 15 いつまでもいつまでもお元気です 19 今森光彦 ネイチャーフォトギャラリー 28 医者のこと、もっと知ってほしい 14	<b>し</b>	鹿男あをによし 35 時間とは何か 29 シャーロックホームズの冒険 23 しゃばけ 34 14歳からの社会学 14 16歳の語り部 49 ショート・トリップ 39 職人を生かす ジョン万次郎 19 シロナガスクジラより 大きいものっているの？ 27 進化しすぎた脳 30	<b>な</b>	ニンデイズ 50 夏の庭 37 72時間生きぬくための101の方法 47 なりたて中学生 初級編 34	<b>み</b>	岬のマヨイガ 42 宮沢賢治の鳥 44	<b>も</b>	モモ 24
<b>お</b>	オー・ヘンリー傑作選 40 踊るジョーカー 43 おもかげ復元師 48 おもしろくても理科 28	<b>ね</b>	職人を生かす ジョン万次郎 19 シロナガスクジラより 大きいものっているの？ 27 進化しすぎた脳 30	<b>に</b>	にげましよう 47 虹色ほたる 42	<b>ゆ</b>	ユタと不思議な仲間たち 43	<b>ゆ</b>	ユタと不思議な仲間たち 43
<b>か</b>	階段途中のビッグ・ノイズ 39 科学の扉をノックする 29 岳物語 37 風が強く吹いている 9 カモメに飛ぶことを教えた猫 10 考える練習をしよう 12	<b>ひ</b>	ピーパー族のしるし 25 4TEEN 8 不可能を可能にする 42 大谷翔平120の思考 42 武器より一冊の本をください 18 プチ哲学 32 フライ、ダイ、フライ 35 Presents 38	<b>り</b>	リトル・トリー 9 電馬がゆく 19	<b>よ</b>	妖怪アパートの幽雅な日常 23	<b>れ</b>	レインツリーの国 38
<b>き</b>	菊池寛 きみが見つける物語 7 きみの友だち 7 救命 50 教育を紡ぐ 49 きりぎりす 39 銀輪の覇者 44	<b>ふ</b>	へんないきもの 27	<b>わ</b>	ワンダー 10	<b>れ</b>			
<b>く</b>	ぐるぐるの図書館 22	<b>へ</b>							
<b>け</b>	獣の奏者 22 現代語訳 論語 20	<b>た</b>	啄木歌ごよみ 45 退出ゲーム 8 だれも知らない小さな国 22						



**98** **三陸鉄道情熱復活物語**  
笑顔をつなぐ、ずっと…  
品川 雅彦 / 著



©三省堂

なぜ三陸鉄道は三年で完全復活することができたのか？

東日本大震災で三陸鉄道も大きな被害を受けました。「鉄道は動かなければただの固まりだ。オレ達を待ち望んでいる人がいる。」という社長の熱意が、社員、地域、自治体に広がっていきます。地域の人達に支えられながら、乗客の安全を第一に考え行動したあの日から復活までの奮闘と情熱が、ここに描かれています。

**99** **救命** 東日本大震災、医師たちの奮闘  
海堂尊 / 監修



©新潮社

まず医療ありき。発災直後から動いた医師たちの闘いの記録。

恐怖と混乱と悲しみの中で、必死に命をつないだ手探りの現場の声。何が医師を突き動かしたのか。そして、目指したものは。被災地の地域医療に携わる九人が、発災から数か月間の状況を克明に語ります。岩手では、宮古市の田老診療所、他に、大槌町、陸前高田市の医療現場が取り上げられています。是非一読を。

**100** **ナインデイズ** 岩手県災害対策本部の闘い  
河原れん 著



©幻冬舎

忘れてはいけないあの日、何が起っていたのか？

岩手県庁に災害対策本部が設置されました。「助けたい」思いはみな同じなのに、情報が入らない、救急車が使えない、ヘリが飛ばない。職員、医師、消防、自衛隊らの「救えない」ことへの葛藤と苦悩。秋富医師を中心に、命を守るために、そして、人や物資を送り届けるために闘った緊迫の九日間の記録です。